



# 法を学ぶ 人間性を磨く

名古屋大学法科大学院 2021

名古屋大学大学院法学研究科実務法曹養成専攻

**NAGOYA LAW**  
NAGOYA UNIVERSITY LAW SCHOOL



増田 知子

名古屋大学大学院法学研究科長

## 困難を乗り越え、新しい社会を創造する法と政治を一緒に探求しましょう。

2019年末に始まった新型コロナウイルス感染症の爆発的感染拡大により、これまで当然のこととされてきた人と物の交流、経済・社会の循環システムに急ブレーキがかかりました。感染症拡大の抑止と経済活動の縮小はバーターの関係となり、病苦と経済的困窮とは秤にかけられ、社会全体が様々なディレンマに直面することとなりました。名古屋大学においても、卒業式、入学式が中止となり、学生の登校は約二か月間禁止されるといった措置がとられました。

新型コロナウイルス感染症による非常事態の出現は、私たちの日常を劇的に変化させると同時に、既存の社会の問題を顕在化させる契機にもなりました。日常生活を営むため保障されている人々の権利の行使を阻むものは、何であるのか。緊急事態に、なぜ制度は機能不全に陥ってしまうのか。人々が公的支援策に容易にアクセスできないのはなぜなのか。懸命に職務を遂行している人々が、なぜ不当な差別を受けたりするのか。様々な「謎」が私たちに突き付けられています。

今、私たちは大きな変化の渦の中にいます。様々な「謎」は、社会の日常を構成している法と政治の在り方を根本から見直す必要を示唆しているように思われます。困難な状況を乗り越え、法科大学院が新しい社会を創造する法と政治を探求する場となることを、心から願っています。

### 教育の理念

「幅広い教養と優れた専門能力を備えた法曹」

「広い視野と国際的関心をもつ法曹」

「他方面で活躍できるバランスのとれた法曹」

このような法曹の育成が名古屋大学法科大学院の教育理念・目的です。

この理念・目的を実現するため、法曹に必要な基礎力・応用力を身に付け、国際的な舞台で、市民のホームドクターとして、さらに企業法務のエキスパートとして活躍するためのカリキュラムが提供されています（【03】【04】頁参照）。

# Professionals of Law

熱く丁寧な指導で合格を目指す  
地元にも、グローバル化した社会にも強い人材を育成

求める  
学生像

「幅広い知見によって支えられた分析力と論理的思考力、  
思考の過程及び結果を的確に表現する能力(論述力)」

「正義や権利に敏感で、社会・経済に対する強い関心を持ち、  
そこで生じている問題を発見し、これを適切に処理できる基本的な能力」

「既修者コースの学生には、法学の基本的な科目についての十分な知識」

名古屋大学法科大学院では、上記能力を備え、互いに切磋琢磨できる人材を求めています。

入学試験では、上記学生像に応じ、論理的思考力、論述力、法学基本科目の基礎知識を問う筆記試験を行うほか、資格、社会経験、留学・ボランティア経験などを自己評価書に記載することを求めています(【10】頁参照)。

## 法科大学院長メッセージ

### 名古屋大学法科大学院で学びませんか

名古屋大学法科大学院の教育理念・目的は、①「豊かな人間性と感受性に裏打ちされ、幅広い教養と優れた法的専門能力を備えた法曹の養成」、②「国際的な関心と視野を持つ法曹の養成」、③中部日本における基幹大学として、「企業法務に強く、ホームドクターとしてのサービスも十分にできる、バランスの取れた法曹の養成」です。このような理念・目的の下で養成された修了生は、司法試験合格後、法曹界のみならず官公庁や民間企業などで幅広く活躍しています。また、名古屋大学は、アジア諸国に対する法整備支援事業を展開しているため、修了者にグローバルな活躍の場を提供できます。

法科大学院以外にも法曹になるルートはあります。しかし、司法試験では技術的・水準的に出題できないけれども、グローバル化・複雑化する現代社会で要求される法的知識を幅広く体系的に習得できることや、同級生と切磋琢磨し、先輩や法曹関係者と知り合う機会が得られることは、法科大学院制度の大きな利点です。

名古屋大学法科大学院で、学びませんか。志高く、やる気と元気に満ちた皆さんが入学することを期待しています。



高橋 祐介  
名古屋大学法科大学院長

## 教育の特色

- 1 法律基本科目と実務基礎科目が充実し、理論教育と実務教育が連動するカリキュラム設計
- 2 研究者教員と実務家教員による協同教育体制
- 3 法学未修者に対する少人数教育、弁護士による実定法基礎科目の設置
- 4 展開先端科目を「国際社会と法」「企業活動と法」「市民生活と法」を含む5つのグループに分類し、めざす法曹ごとに履修モデルを提供
- 5 幅広い基礎法学・隣接科学の知見を修得するための科目の設置
- 6 ITを活用し、「CANVASシラバスシステム」や録画対象授業を聴講できる「お助け君ノートシステム」などを導入

めざす法曹像の別による履修モデルの例	2020年度入学者の例
--------------------	-------------

	1年次		2年次		3年次		
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
<b>必修・選択必修科目</b> ●：必修 ○：選択必修	法律基本科目	●憲法基礎Ⅰ ●行政法基礎Ⅰ ●民法基礎Ⅰ ●民法基礎Ⅱ ●民法基礎Ⅲ ●民法基礎Ⅳ ●刑法基礎Ⅰ	●憲法基礎Ⅱ ●行政法基礎Ⅱ ●民法基礎Ⅴ ●民法基礎Ⅵ ●商法基礎Ⅰ ●商法基礎Ⅱ ●刑法基礎Ⅱ	●憲法演習 ●行政法演習Ⅰ ●民法演習Ⅰ ●商法演習Ⅰ ●民事訴訟法Ⅰ ●刑法演習Ⅰ ●刑事訴訟法Ⅰ	●行政法演習Ⅱ ●民法演習Ⅱ ●商法演習Ⅱ ●民事訴訟法Ⅱ ●刑法演習Ⅱ ●刑事訴訟法Ⅱ		
	実務基礎科目			●民事実務基礎Ⅰ	●民事実務基礎Ⅱ ●刑事実務基礎 ○ロイヤリング ○エクスターンシップ	●法曹倫理 ○模擬裁判(民事)	
基礎法学・隣接科目	法哲学 法制史 比較法Ⅰ 比較法Ⅲ	法と心理学 現代世界の政治 比較法Ⅱ					
<b>国際的視野と能力をもった法曹</b>	展開・先端科目		法整備支援論	国際法Ⅰ	国際法Ⅱ 国際私法Ⅰ	国際私法Ⅱ 外国人と法 先端分野総合研究	比較民事法総合
	法律基本科目(選択)	実定法基礎Ⅰ	実定法基礎Ⅱ			総合問題演習(公法) 総合問題演習(民事法)	総合問題演習(刑事法)
<b>企業法務に通用する法曹</b>	展開・先端科目			労働法Ⅰ 租税法Ⅰ 環境法Ⅰ 地方自治法	知的財産法Ⅰ 経済法Ⅰ 民事執行・保全法 倒産法Ⅰ	知的財産法Ⅱ 経済法Ⅱ 倒産法Ⅱ ビジネスプランニング 金融法 先端分野総合研究	知的財産法演習 比較民事法総合
	法律基本科目(選択)	実定法基礎Ⅰ	実定法基礎Ⅱ			総合問題演習(公法) 総合問題演習(民事法)	総合問題演習(刑事法)
<b>市民生活上の法律問題で活躍する法曹</b>	展開・先端科目			労働法Ⅱ 租税法Ⅱ 環境法Ⅱ 比較公共訴訟論	現代刑事司法論 先端分野総合研究	労働法演習 租税法演習 社会保障法 刑事学 比較民事法総合	
	法律基本科目(選択)	実定法基礎Ⅰ	実定法基礎Ⅱ			総合問題演習(公法) 総合問題演習(民事法)	総合問題演習(刑事法)

※法学既修者(2年コース)の場合

1年次に上記の表の「2年次」相当の必修の法律基本科目・実務基礎科目を履修し、2年次に上記の表の「3年次」相当の必修・選択必修の実務基礎科目を履修する。  
また、基礎法学・隣接科目、展開先端科目、法律基本科目(選択)【実定法基礎Ⅰ/Ⅱを除く】については、1年次には上記の表の「1年次」と「2年次」に配当された科目から、2年次には上記の表の「1年次」から「3年次」までに配当された科目から、適宜選択して履修する。

## 講義風景 **ロイヤリング** 相談や交渉の実務を学ぶ

二次元の条文をリアルな世界でどう活かしていくのか、学んでください。

実務経験に富んだ弁護士・実務家教員と法社会学・法実務教育論が専門の研究者教員による講義である。依頼者との面談から証拠収集や相手方との交渉等に至る過程についてロールプレイングを交えて学ぶ。

### 上松健太郎准教授(弁護士)



## 講義風景 **外国人と法** 法的知識で国際問題に取り組む

有職故実の美に囚われない、グローバル化に向き合う創造的な学問・実務を目指しましょう。



近年のグローバル化と日本社会の少子高齢化に伴い変容を遂げつつある外国人に対する法政策を学ぶ講義である。難民問題など喫緊の課題に取り組むことができる。

### 小畑郁教授(国際法)



**成績評価**：「授業時の平常点」「小テストやレポート」「期末試験」の組み合わせにより60点以上で合格とする。  
(合格者分布について、特A10%、A30%、B40%、C20%とする目安を設定し、公平さを確保)

**進級制度**：法律基本科目についてGPA1.5に満たない者は進級できない。

あわせて既修得単位数の合計が一定単位数に満たない者も進級を認めない。

さらに、未修1年次生が2年次に進級するには、法科大学院共通到達度確認試験で、一定の成績を収める必要がある。

## 教員情報

### 専任教員

#### 研究者教員(13名)

今井 克典(商法) 高橋 祐介(租税法)  
金子 敬明(民法) 橋田 久(刑法)  
栗田 昌裕(民法) 深澤龍一郎(行政法)  
小島 淳(刑事訴訟法) 藤本 亮(法情報学)  
小林 量(商法) 村上 正子(民事訴訟法)  
斎藤 一久(憲法) 村田 健介(民法)  
鈴木 將文(知的財産法)

#### 実務家教員(4名)

上松健太郎(弁護士) 野田 裕之(弁護士)  
加藤 直人(検察官) 久田 淳一(裁判官)

### 客員教員

#### (4名)

鮎京 正訓(愛知県公立大学法人) 杉山 苑子(弁護士)  
澁谷 歩(弁護士) 永井 敦史(弁護士)

### 非常勤・招聘・教育連携・特任教員【科目担当教員】

愛敬 浩二 久保 明愛 盛田 裕文  
安積 孝師 棚村 治邦 柳沢 雄二  
荒川 歩 豊島 明子 山本 将成  
伊藤 朋紀 服部 真也 和田 肇  
大楠 善和 丸山 雅夫  
川口 直也 森 貴志

### 兼任教員

#### 綜合法政専攻所属(18名)【科目担当教員】

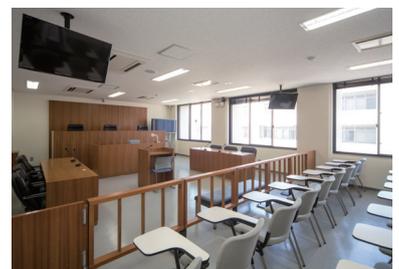
稲葉 一将(行政法) 波多野 敏(西洋法制史)  
宇田川幸則(中国法) 林 秀弥(経済法)  
岡 克彦(アジア法) フランク・ベネット(比較法)  
小畑 郁(国際法) 松田 貴文(民法)  
川嶋 隆憲(民事訴訟法) 宮木 康博(刑事訴訟法)  
齊藤 彰子(刑法) 本 秀紀(憲法)  
田村 哲樹(政治学) 矢野 昌浩(労働法)  
中野 妙子(社会保障法) 横溝 大(国際私法)  
中東 正文(商法) 渡部美由紀(民事訴訟法)

#### 名古屋大学法政国際教育協力研究センター所属(1名)【科目担当教員】

松尾 陽(法哲学)

#### 他研究科所属(3名)【科目担当教員】

赤舘 芳宏(環境学研究科) 増沢 陽子(環境学研究科)  
島田 弦(国際開発研究科)



\*この他、科目連携・協力教員、ゲスト講師、課題指導員などとして弁護士を含む多くの非常勤教員が本学における法科大学院教育に携わっています。  
\*最新の情報に関しては、名古屋大学法科大学院HP「教員組織」でご確認ください。

## 授業料・奨学金・学生への支援情報

入 学 料 282,000円

授 業 料 年間804,000円(春学期・秋学期の各期402,000円)

奨 学 金

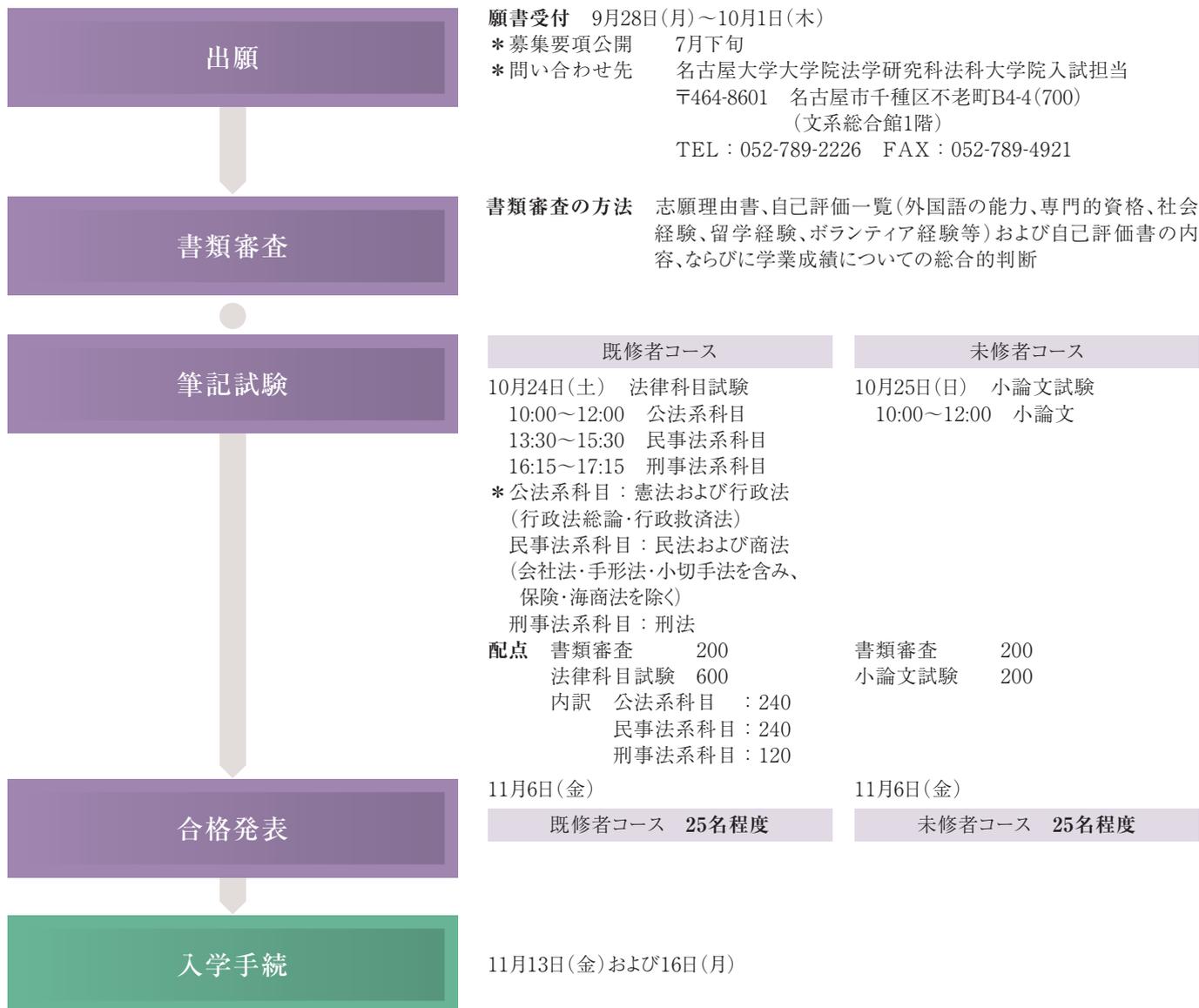
- 日本学生支援機構の奨学金
  - 第一種(無利子) 月額 88,000円、50,000円から申込者が選択  
\*在学中に特に優れた業績をあげた者として認定された場合には、貸与期間終了後に奨学金の全部または一部の返還が免除されます。
  - 第二種(有利子) 月額 5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から申込者が選択  
\*月額15万円の貸与選択者に限り、希望により一定額の増額貸与を受けることができます。
- 地方公共団体および民間奨学事業団体による奨学金  
\*詳細は、募集時にその都度周知しています。
- NPO法人奨学金(NPO法人ロースクール奨学金ちゅうぶ奨学生)  
名古屋大学法科大学院は、NPO法人ロースクール奨学金ちゅうぶ(後援・中部弁護士会連合会・愛知県弁護士会)の奨学金支給対象法科大学院です。募集対象は、入学許可者及び在學生です。

授 業 料 免 除 学業優秀と認められ、かつ、経済的な理由により授業料の納入が困難な者に対しては、選考の上、各期の授業料の約半額相当が免除されます。

弁護士による学修支援 **法学未修者への学修支援**：愛知県弁護士会の若手弁護士が実定法基礎Ⅰ・Ⅱ担当教員として学修活動を支援しています。  
**演習系科目・総合問題演習における学修支援**：愛知県弁護士会所属の経験豊かな弁護士が実務の観点から学修活動を支援しています。

自 習 室 専用の自習室を備えており、法科大学院生の自主的な管理のもとで、利用することができます。また、自習室内に法科大学院生の学習用図書が配置されています。

名古屋大学法科大学院入学試験



2020年度(2019年実施)入学試験(第2次募集含む。)における志願者数など

	志願者	受験者	合格者	入学者	
未修者(3年)コース	57名	50名	20名	15名	
既修者(2年)コース	64名	58名	26名	19名	* 両コースの併願者 37名

- \* 3年次飛び入学：大学の学部3年次に在学する成績優秀者については、法科大学院入試への出願資格を認めます。成績優秀者に該当するかどうかを判断するために、出願前に事前審査をしますので、必要書類を事前にご提出ください。
- \* 社会人特別枠：設けておりません。ただし、書類審査において、社会人としての経験、とりわけ資格を考慮した審査を行います。自己評価書での積極的なアピールを期待します。
- \* 外国語能力：自己評価一覧に外国語の能力を積極的評価の事項として記載することができます。記載する場合には、一般的に信頼度の高い機関がその能力を認定し、証明する書面であって、その認定・証明が一般的に受容されているもの(TOEFLの成績証明書のコピーなど)を提出してください。外国語は、ドイツ語やフランス語などでもよく、英語に限定されません。
- \* 入試情報は変更の可能性がありますので、最新の情報に関しては、名古屋大学法科大学院HP「入試情報」や「Q&A」、名古屋大学法科大学院学生募集要項でご確認ください。また、ご質問、お問い合わせ等につきましては、文書又はファックスにて受け付けています。



NAGOYA UNIVERSITY

## Access

### 地下鉄名城線「名古屋大学」1番出口

Meijo (Purple) Line, "Nagoya Daigaku" Station, Exit 1

